

採血を受けられる患者さまへ

福井赤十字病院

「採血」は病気の診断や病状を把握するために必要な医療行為です。当院では国家資格を有する臨床検査技師・看護師が細心の注意を払って採血を行っております。基本的には安全で合併症を起こすことは少なく、軽症の場合がほとんどですが、まれに次のような症状が起こることがあります。その際には最善の処置を行いますが、診療に要した医療費は通常の保険診療の適用となり、ご負担が発生しますことをご了承ください。

1. 止血困難・皮下血腫

採血後、止血しにくかったり、内出血により紫色になったり、腫れる場合があります。十分な圧迫で（押さえる）ある程度防ぐことができますので、揉まずに5分ほどしっかりと押さえて止血してください。血が止まりにくい方は十分な止血をしますのでお知らせください。

2. アレルギー

採血時のアルコール消毒やスタッフのラテックス手袋（ゴム製品）、駆血帯（ゴム）、絆創膏などでかゆくなったりかぶれることがあります。皮膚の弱い方、アレルギーのある方はお知らせください。

3. しびれ・神経損傷

穿刺部位にしびれや痛みが限定している場合は、おおむね1週間程度で良くなります。しかし、1週間以上経過しても良ならない場合は、神経損傷を起こしている可能性があるため、採血担当者もしくは診療科看護師、担当医師にお知らせください。

4. 血管迷走神経反応

採血時や採血後に神経が興奮し急激に血圧が下がる、めまい、気分不良、意識消失などを引き起こすことがあります。過去の採血時に気分が悪くなったことのある方はお知らせください。

福井赤十字病院 検査部

